

葉いもちまん延防止重点対策

—葉いもちを抑えて穂いもち予防を—

現在、県内で葉いもちの発生が多く、平年の5倍程度の発生面積を確認（防除室調べ）しています。今後、特に**早生で穂いもちが多発する危険**があります。

現時点で葉いもち病斑がみられる圃場では、被害が拡大する恐れがあるため、すぐに防除を行いましょう。

また近年、梅雨明け後でも天候不順になり、晩生品種でも穂いもちが多くなっています。出穂前に雨が続いたときは防除を行ってください。

1 防除時期

葉いもちまん延防止 →病斑をみつけたらすぐに
 上位葉に病斑が進展してきたら→**穂いもちの対策**が必要

1回目：穂ばらみ期～出穂直前

2回目：出穂期～穂揃期(カメムシとの同時防除)



2 主な防除薬剤

※農薬の表示（収穫前日数など）を確認し、正しく使いましょう。

剤型	薬剤名	カメムシ登録等	収穫前日数	希釈倍率	使用量/10a	成分数	本剤の使用回数	備考
粉剤 ・ 微粒F	ビーム粉剤DL		7	—	3~4kg	1成分	3回	・散布後4時間程度降雨がなければ充分効果がある。 ※微粒Fは専用のホースを使用する。
	ビームスタークル粉剤5DL	●	7	—	3~4kg	2成分	3回	
	ラブサイド粉剤DL		7	—	3~4kg	1成分	3回	
	トップジンスタークル粉剤DL	●	14	—	3~4kg	2成分	3回	
	トライトレボン粉剤DL	●	14	—	3~4kg	2成分	2回	
	トライK粉剤DL	●	14	—	3~4kg	2成分	2回	
	ブラシン粉剤DL	内籾褐変等	7	—	3~4kg	2成分	2回	
	ビームスタークル微粒剤F※	●	7	—	3~4kg	2成分	3回	
サジェスト微粒剤F※	● 紋枯病	21	—	3~4kg	3成分	3回		
液剤 ・ ゾル	ビームエイトゾル		7	250倍	25ℓ	1成分	3回	
	〃		7	(無人ヘリ) 5~8倍	800ml			
	ビームエイトモンカットフロアブル	紋枯病	14	(無人ヘリ) 5~8倍	800ml	2成分	3回	
	ビームエイトスタークルゾル	●	7	(無人ヘリ) 8倍	800ml	2成分	3回	
	ラブサイドモンセレンフロアブル	紋枯病	21	(無人ヘリ) 4倍	800ml	2成分	3回	
	ラブサイドダントツフロアブル	●	7	(無人ヘリ) 8倍	800ml	2成分	3回	
	アミスタートレボンSE	●	14	1000倍	60~150ℓ	2成分	3回	
	〃	●	14	(無人ヘリ) 8倍	800ml			
	トライフロアブル		14	1000倍	60~150ℓ	1成分	2回	
	〃		14	(無人ヘリ) 8倍	800ml			
ブラシンフロアブル	内籾褐変等	7	1000倍	60~150ℓ	2成分	2回		

◇◇◇ 最新の農薬登録情報 (<http://pesticide.maff.go.jp>) を確認して下さい ◇◇◇

福井県農業試験場病害虫防除室

連絡先 0776(54)5100

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyō/boujyo.html>

QRコードをスキャンしてください →

福井県病害虫防除室 🔍 検索



農薬の飛散に注意しましょう

農薬の安全使用に努めて適期防除しよう